

本院で乳癌の治療を受けられた患者さん・ご家族の皆様へ
～乳癌治療時における診療情報の医学研究への使用のお願い～

【研究課題名】

COVID-19が大分県の乳癌診療に及ぼした影響に関する観察研究

【研究の対象】

2019年1月～2023年12月に当院で新規に乳癌と診断され治療を受けられた方

【研究の目的・方法】

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックにより、病院の受診制限や検診受診者数の減少など医療において多大な影響が認められています。本研究では、COVID-19のパンデミック前後での乳癌の患者さんの受診経緯、診断時の癌進行度等に関するデータを集計し、その影響を明らかにすることを目的としています。

研究期間：倫理審査委員会承認後～2025年12月31日

【使用させていただく情報について】

本院におきまして、既に乳癌の治療を受けられた患者さんの診療記録を利用させていただきます。診療記録の利用は、本学医学部倫理委員会において外部委員も交えて厳正に審査・承認され、大分大学医学部長の許可を得て実施しています。また、患者さんの診療情報は、国の定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従い、特定の個人を識別できないよう加工したうえで管理しますので、患者さんのプライバシーは厳密に守られます。当然のことながら、個人情報保護法などの法律を遵守いたします。

【使用させていただく試料・情報の保存等について】

診療情報については論文発表後10年間の保存を基本としており、保存期間終了後は、癌組織（試料）は焼却処分し、診療情報については、シュレッダーにて廃棄したり、パソコンなどに保存している電子データは復元できないように完全に削除します。

【外部への試料・情報の提供】

本研究で収集した試料・情報を他の機関へ提供することはありません。

【患者さんの費用負担等について】

本研究を実施するに当たって、患者さんの費用負担はありません。

【研究資金】

本研究においては、研究事務局である大分大学医学部呼吸器・乳腺外科学講座の寄附金（学術研究助成）を用いて実施します。

りえきそうはん

【利益相反について】

本研究は、公的な資金である、呼吸器・乳腺外科学講座寄附金（学術研究助成）を用いて実施します。本研究は、上記研究資金を用いて実施する研究であり、特定の営利に関わるものではありません。したがって、本研究に関わる全ての者が、本学利益相反マネジメントポリシーに抵触する利益相反を有しません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような

利害関係を指し、金銭および個人の関係を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。

【研究の参加等について】

本研究に診療情報を使用してほしくない場合、遠慮なくお知らせ下さい。ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。その他、本研究に関して質問などがありましたら、主治医または以下の照会先・連絡先までお申し出下さい。

【研究組織】

【研究実施体制】

	所属・職名		氏名
研究責任者	大分大学呼吸器・乳腺外科学講座	教授	杉尾 賢二
研究分担者	大分大学呼吸器・乳腺外科学講座	大学院生	工藤 栄華
	大分大学呼吸器・乳腺外科学講座	准教授	小副川 敦
	大分大学呼吸器・乳腺外科学講座	助教	内匠 陽平
	大分大学呼吸器・乳腺外科学講座	助教	安部 美幸
	大分大学呼吸器・乳腺外科学講座	助教	辛島 高志

【参加施設（50音順）】

- ・医療法人咸宜会日田中央病院
- ・医療法人うえお乳腺外科
- ・大分医師会立アルメイダ病院
- ・大分県厚生連鶴見病院
- ・大分県済生会日田病院
- ・大分県立病院
- ・大分赤十字病院
- ・大分大学医学部附属病院
- ・大久保病院
- ・たなか乳腺・外科・内科クリニック
- ・独立行政法人国立病院機構大分医療センター
- ・中津市立中津市民病院
- ・藤吉乳腺クリニック
- ・豊後大野市民病院

【お問い合わせについて】

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大分大学医学部呼吸器・乳腺外科学講座

住 所：〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1-1

電 話：097-586-5854

担当者：大分大学医学部呼吸器・乳腺外科学講座 大学院生 工藤 栄華

中津市立中津市民病院

住所：〒871-8511 大分県中津市下池永 173 番地

電話：0979-22-2480

当院担当者：外科 医長 永松 敏子